

危機管理、業務改革、 環境改善を推進する 統合文書情報マネジメント (ECM)

東京 5月23日(月)
国際ファッションセンター
KFC Hall (定員 250名) KFC Hall 2nd (定員 100名)
大阪 6月9日(木)
大阪産業創造館
イベントホール4階 (定員 180名)

このたびの東日本大震災により、被災された皆様、そのご家族の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。皆様の安全と健康、そして被災地の1日も早い復旧を心からお祈り申し上げます。

企業や自治体では、今回の震災を通して企業の存続に関わる貴重な文書やデータ、地方自治行政に必要な不可欠なさまざまな記録に対する危機管理への取り組みが、非常に重要視されております。また、環境改善の必要性が全球規模で問題にされる中、各種法規制により内部統制とリスクマネジメントの強化が求められ、業務改革と文書管理のあり方が問われております。

日本画像情報マネジメント協会(JIIMA)では、企業活動、自治行政における正しい記録と保存・開示に関し、JIIMAならではの統合文書情報マネジメント(ECM)の観点からのセミナーを東京と大阪で開催いたします。

文書の記録管理を確実にし危機に備える

企業や自治体においてさまざまな要因により重要な記録を失うことは、事業継続や地方行政継続の危機に関わる極めて重大な課題です。

- ・ 紙の重要文書や記録の消失
- ・ 従来の記録媒体への保管記録が読取不能になること
- ・ バックアップシステム不備による致命的損害の発生

JIIMAでは、紙文書の電子化、個人保管から組織的統合管理、電子的な多重分散保管等、統合文書情報マネジメント(ECM)により、危機管理に備え事業継続が可能になるよう、提案して行きます。

最新のマーケット・トレンド、新技術動向の紹介

有識者及び業界のトップベンダーから、文書管理における最新のマーケット情報・技術動向をご紹介します。

- ・ ECMの進化や導入のメリット、国内・海外最新事例
- ・ 公文書管理の進め方と実践事例
- ・ 文書の機密度管理の重要性
- ・ 紙文書の電子化による業務継続ソリューション事例

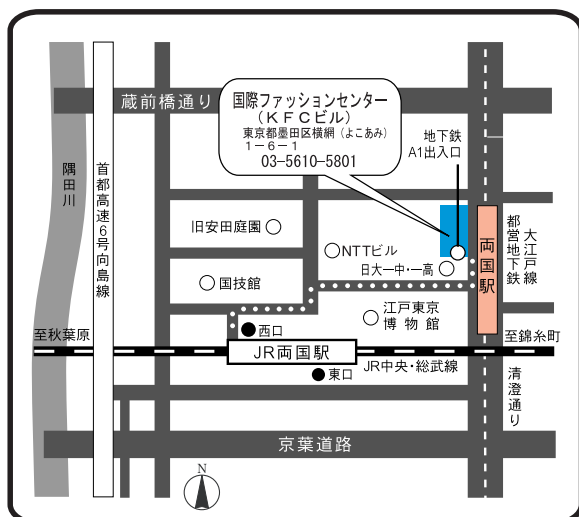
JIIMAならではのナレッジを提供

JIIMAでは、各委員会やワーキンググループにて、文書情報に関する普及・啓発活動を行っております。今回は、次のナレッジやビジネス事例を含めて、最新情報が集まる業界団体だからこそ発信できる話題を提供いたします。

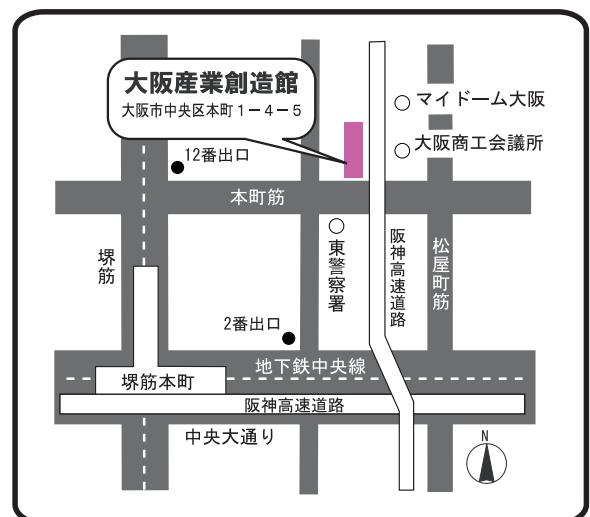
- ・ 電子文書を長期間確実に保存するためのベストプラクティス
- ・ デジタル・マイクロ・アーカイブによる保存ガイドライン
- ・ 電子化文書の法的証拠能力の考え方について
- ・ ECM導入事例

東京 5月23日(月) 国際ファッションセンター [無料]

大阪 6月9日(木) 大阪産業創造館 [無料]



- 都営地下鉄 大江戸線 両国駅に直結で便利です
- JR両国駅徒歩6分



- 地下鉄堺筋本町駅徒歩5分

東京

5月23日

セミナーと展示「無料」

講演の資料は一部を除きセミナー終了後にダウンロードする方式になっております。ダウンロードのアドレスはセミナー当日に会場でお知らせいたします。

プログラム

HALL(定員250名)	
10:00 11:00	A 1 基調講演 統合文書情報マネジメント(ECM)の最新動向と危機管理から見たその重要性 社団法人日本画像情報マネジメント協会 理事長 高橋 通彦
11:10 12:00	A 2 特別講演 ○○○○○○○○○○○○○○○○○ 特定非営利活動法人 危機管理対策機構 理事・事務局長 細坪 信二 氏
13:00 13:50	A 3 業務継続を実現する紙文書電子化 ～国内外の事例に学ぶ実践ソリューション～ 株式会社PFU 沖野 重幸 氏
14:10 15:00	A 4 iPadを本気で業務に使う! モバイルプレゼンからECM/危機管理まで 株式会社ハイパーギア 本田 克己 氏
15:20 16:10	A 5 公文書管理法施行! 公文書管理の進め方と実践事例の紹介 ～公文書管理の最前線からのレポート～ 株式会社ワンピナーカイズ 池田 竜隆 氏
16:20 17:10	A 6 特別講演 公文書管理法での文書管理 前内閣官房公文書管理検討室 参事官補佐 植草 泰彦 氏

HALL 2nd(定員100名)	
10:00 11:00	B 1 電子文書を長期間確実に保存するための継続可能な方法はなにか 社団法人日本画像情報マネジメント協会 マイクロアーカイブ委員会 委員 榎林 幸一
11:10 12:00	B 2 ECMの動向 ～危機管理・BCPIに有効なコンテンツ管理の最新動向～ 社団法人日本画像情報マネジメント協会 ECM委員会 委員長 梅原 壽夫
13:00 13:50	B 3 知財創庫の災害復旧手法と記録の証拠化手法を紹介します。 株式会社ジムコ 中村 壽孝 氏
14:10 15:00	B 4 電子カルテシステム 連携統合コンテンツ管理ソリューション ハイランドソフトウェア株式会社 金井 芳美 氏
15:20 16:10	B 5 法対応などにみる、文書の機密度管理の重要性 ～改正不正競争防止法とISMSの観点から～ NRIセキュアテクノロジーズ株式会社 船越 洋明 氏
16:20 17:10	B 6 1. JIIMA電子化文書取扱ガイドラインについての解説 ～電子化文書の法的証拠能力の考え方に付いて～ 社団法人日本画像情報マネジメント協会 法務委員会 委員長 甲斐荘 博司 2. デジタル・マイクロ・アーカイブによる保存ガイドラインの解説 社団法人日本画像情報マネジメント協会 マイクロアーカイブ委員会 委員 池上 孝史

展示同時開催 (東京会場のみ) 11:00～17:30 — 無料 — 展示の見学は申込不要です。ご自由にお越しください。	出展社名 (50音順)	出展内容
	株式会社PFU	PDF長期署名ライブラリシステム
	ビクターアドバンスメディア株式会社	ISOメディア製品、専用ドライブ、検査機
	富士フィルム株式会社	電子化入力から、デジタル・マイクロ・アーカイブまで
	株式会社マイクロテック	カラーマイクロフィルム アーカイブシステムOP500
	株式会社ムサシ	ScanPro2000

大阪

6月9日(木)「無料」

イベントホール(定員180名)	
13:00 13:50	C 1 基調講演 統合文書情報マネジメント (ECM) の最新動向と危機管理から見たその重要性 社団法人日本画像情報マネジメント協会 理事長 高橋 通彦
14:00 14:50	C 2 事例から学ぶ 真の文書管理基盤とは 日本オラクル株式会社 浅沼 隆司 氏
15:00 15:50	C 3 業務継続を実現する紙文書電子化 ～国内外の事例に学ぶ実践ソリューション～ 株式会社PFU 沖野 重幸 氏
16:00 16:50	C 4 電子文書を長期間確実に保存するための継続可能な方法はなにか 社団法人日本画像情報マネジメント協会 マイクロアーカイブ委員会 委員 榎林 幸一

このイベントはセミナーと展示会のスポンサー企業のご協力により実施されます。

セミナー受付開始 4月25日(月)より <http://www.jiima.or.jp>

東京・大阪ともに、満席になり次第締め切りとさせていただきます。セミナーの詳細内容は、Webをご覧ください。

お問い合わせ 社団法人日本画像情報マネジメント協会 事務局 TEL 03-5821-7351

※講演内容、講師、時間などが予告なく変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。